



くらしのなかの 水道・下水道

～水道施設の更新・長寿命化について～

2カ月に1回、水道と下水道のしくみや事業についてお知らせしています。今回は古くなった水道施設の修繕、水道本管の耐震化についてご紹介します。

☎上下水道事業所 ☎25-5522

■配水池の屋上・外壁を修繕しました

水道施設を適切に維持し老朽化による事故を未然に防ぐため、市では計画的に施設の修繕を進めています。本年度は配水池（※1）を2カ所実施しました。写真のとおり、屋上の防水改修と外壁の塗装改修を行い、施設の使用期間を延ばす修繕を行いました。

二ノ萱配水池 Before（施工前）



▲長期間雨風にさらされ劣化した状況

二ノ萱配水池 After（施工後）



▲屋上の防水と外壁の塗装を行い、修繕完了

※1 浄水した水道水を一時的にためておく施設

■地震に強い水道管に更新しています

市では古くなった水道管の漏水や地震による被害を減らし、どんなときも安全・安心な水を供給するため、平成22年度から老朽管更新を行う際に地震に強い水道管（耐震管）に取り換える工事を行っています。耐震管にはさまざまな種類があり、次のように埋設場所や口径によって使い分けをしています。

口径・種類	写真	特徴
75～150mm 配水用 ポリエチレン管		樹脂製のためさびによる劣化がありません。融着継手（※2）により管と管が一体化できます。また、管自体に柔軟性があるため地盤変動にも対応できます。
100～300mm ダクトイル 鋳鉄管（GX型）		衝撃に強く耐久性があり、継手部分は鎖構造となっており、大きな伸縮に対応できます。耐食塗装（※3）により、これまでより長い期間使用することができます。

※2 管や継手を電気や熱で溶かして一体化させる接合方式

※3 金属の腐食を防止する機能を持った塗装

令和6年12月31日に菊地正昭副市長が退任し、 令和7年1月1日より村上忠則副市長が就任しました



このたび、12月31日の任期満了をもちまして、副市長を退任いたしました。

平成29年に副市長に就任させていただき、この8年間の間、こじゅうろうキッズランドをはじめとした「しろいしサンパーク」の整備、福島県沖地震の復旧工事、公立刈田総合病院の公設民営化などさまざまな事業に携わらせていただきました。また、昨年度市制施行70周年記念式典を挙げてきたこと大変ありがたく思っています。

これまで白石を皆さまに愛されるまちにしたいと行政運営に取り組んできたと自負しております。これから立場は変わりますが、白石市の応援団であることに変わりはありません。今後も山田市長のもと、本市がさらなる隆盛を迎えるよう職員の皆さまにはさらなる一致団結をお願いしたいと思います。

昭和56年に市役所に入庁し、職員時代を含めると44年間さまざまな方にお世話になりました。この日を迎えることができたのも支えてくれた市民の皆さま、議員の皆さま、そして職員の皆さまのおかげだと思っております。長い間本当にありがとうございました。

前副市長 菊地正昭



令和6年12月20日に行われました白石市議会12月定例会において、選任の同意をいただき、1月1日をもって副市長に就任いたしました。

改めてその職責の重さ、大きさに身の引き締まる思いであります。

現在、本市はさまざまな課題をかかえております。また、白石城開門30周年、（仮称）白石中央スマートインターチェンジ、道の駅しろいしの開業など大きな転換期でもあります。

もとより微力ではありますが、白石市職員として42年間行政に携わってきた経験や知識を生かし、一つでも多くの市政課題を一日でも早く解決できるよう、職員の皆さまと力を合わせて山田市長を補佐し、誠心誠意取り組んでまいりたいと思っております。

私は市民の皆さまが仲良くできるまち、仲良く暮らせるまちを作りたいと考えております。皆さまの笑顔があふれる、手と手を取りあいながら暮らせるまちを実現したいと思っております。市民の皆さまの一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

副市長 村上忠則